

～にしうわのみかん産地を守りたい～
玉井 真吾さん(八幡浜市(旧保内町))



1980年生まれ
農業法人「橙果園」 代表取締役
西宇和青壮年同志会 元会長
愛媛お手伝いプロジェクト 副リーダー

☆経営概況☆

栽培品目：温州みかん 171 a
(宮川早生、南柑 20 号、普通温州等)
中晩柑 334 a
(清見、伊予柑、デコポン等)
計 505a
労働力：4 人(父・母・妻・私)

☆ここがポイント☆

■就農の経緯

両親がみかん農家だったので、子供のころから将来はみかんを作るものだと思っていました。農林水産省果樹試験場カンキツ研究部を卒業後、同試験場で1年間特別研修生として研修し、親元就農しました。

■法人化のきっかけ

現在の労働力は、父、母、妻、私の4人で、農繁期にはみかんアルバイトや八幡浜お手伝いプロジェクトを活用し労働力を確保しています。法人化を決意したのは、両親の高齢化を視野に、後継ぎ候補と労働力の確保がきっかけでした。また、**農業に興味がある人や農業経験がなく、農業に対して不安がある人なども安心して就農できる体制づくりをしたい**と思い、法人化しました。

■にしうわのみかん産地を守るために!!

個人販売するために法人化をすることが多いと思いますが、我が社はこれからも農協に出荷し、**先人たちが築き上げてきたにしうわのみかん産地を、農協などの関係機関と一体となり守っていきたい**です。

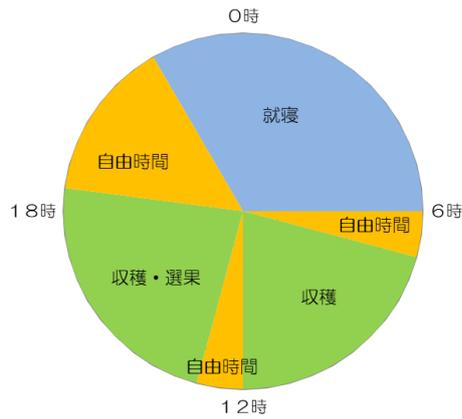


伊予柑の収穫作業



みかんアルバイトとのコーヒブレイク

【一日のライフスタイル（一例）】



【普段の生活について】

農繁期でないときは、日曜日を休日としています。休日を利用し、妻と大洲や伊方、松山市の温泉を訪れ、日頃の農作業で溜まった疲れをリフレッシュしています。

また、10月には家族旅行をし、収穫・選果・出荷調製などで忙しくなる農繁期に向けて、英気を養っています。

【一週間のライフスタイル（一例）】

	月	火	水	木	金	土	日
【繁忙期】	← 収穫・出荷(悪天候等により、作業が少ない日が休日) →						
【普通期】	← 栽培管理 →						→ 休日 →



みかんアルバイトや同志会の方との親睦会



夫婦で農作業

☆これからの夢や目指すもの☆

にしうわ産地の発展と維持です。そのために、農業経験のない新規就農者や研修生を積極的に自社に受け入れ、将来的には若手従業員に対して自社農地の「のれん分け」を行い、地域の耕作放棄地の解消につなげていきたいです。また、今後は点滴かん水など、省力化・高品質のための施設の導入を進めていきたいです。

☆メッセージ☆

農業は大変でしんどい面も多くありますが、美味しく高品質なものできたときはとてもやりがいを感じます。産地の発展・維持のためには、新しく農業をしてくださる方が必要です。ぜひ一緒にみかん作りをしてみませんか？